



STRAUMANN® X-LINE

TLX & BLX IMPLANT SYSTEM

TLX インプラント登場！
X シリーズインプラントのラインアップが拡充。

2025. 09. 01 発売開始

ストローマン・ジャパン株式会社
〒108-0014 東京都港区芝5-36-7 三田ベルジュビル 6階

販売名: ストローマンインプラント (RxSolid SLActive) TLX
販売名: ストローマンインプラント (RxSolid SLActive) BLX
承認番号: 30700BZX00145000
承認番号: 30200BZX00243000



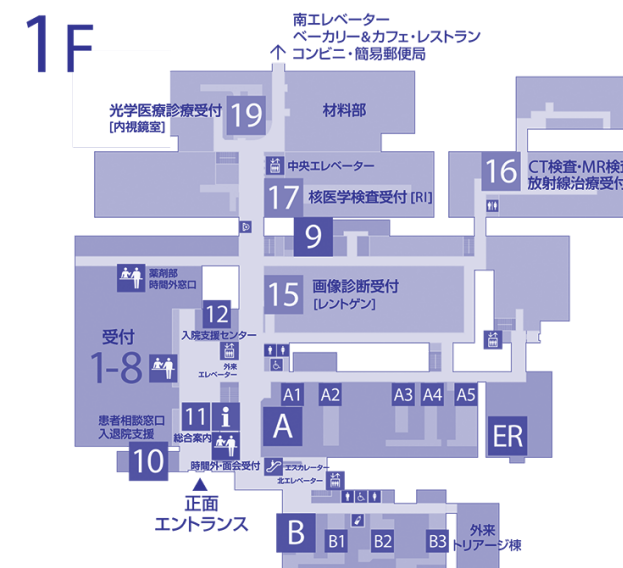
セントラル メディカルグループ

医療機器総合商社
セントラルメディカル株式会社
本社
〒920-0024 石川県金沢市西念3丁目1番5号
TEL.076(262)1111代 FAX.076(223)7255
富山支店・福井支店
<http://www.centralmedical.co.jp/>

福祉用具レンタル・販売
株式会社メディベック
本社
〒920-0024 石川県金沢市西念3丁目1番5号
TEL.076(224)5600代 FAX.076(224)6116
金沢営業所・富山営業所・福井営業所



- 24 医療福祉サポートセンター [医療相談・栄養相談]
- 25 採血受付
- 26 生理検査受付
- 27 輸血細胞治療部門
- C 外来受付 - 内科・脳神経内科・総合診療科
感染症科・腫瘍内科・緩和ケア内科
- C1 内科待合
- C2 内科待合
- C3 内科待合
- C4 内科待合
- C5 内科待合
- D 外来受付 - 皮膚科・外科・耳鼻咽喉科頭頸部外科
形成再建外科・美容外科
- D1 皮膚科治療待合
- D2 皮膚科・外科待合
- D3 外科・耳鼻咽喉科頭頸部外科待合



- ★ ★ 受付 1-8
- ★ ★ 薬剤部時間外窓口
- 9 放射線診断科・放射線治療科
- 10 医療福祉サポートセンター [患者相談窓口・入院支援]
- 11 i 総合案内
- ★ ★ 時間外・面会受付
- 12 入院支援センター
- 15 画像診断受付 [レントゲン]
- 16 CT検査・MR検査・放射線治療受付
- 17 核医学検査受付 (RI)
- 19 光学医療診療受付 [内視鏡室]
- ER 災害・救命センター・外来
- A 外来受付 - 整形外科・脳神経外科・和漢診療科
産科婦人科・リハビリテーション科
- A1 整形外科待合
- A2 脳神経外科待合
- A3 和漢診療科待合
- A4 産科婦人科待合
- A5 顎口腔外科・特殊歯科受付・待合
- B 外来受付 - 小児科・アイセンター (眼科)・泌尿器科
- B1 小児科待合
- B2 アイセンター (眼科)待合
- B3 泌尿器科待合

2025年度

第42回

アルペン口腔科学フォーラム

会 長 山田 慎一 (富山大学学術研究部医学系 歯科口腔外科学講座 教授)

会 期 令和7年
10月5日(日) 9:00~12:00

会 場 富山大学附属病院2階
臨床講義室2

参加費
無 料 日本歯科医師会の認定を受けていますので、
現地参加の方は生涯研修ポイントをご持参ください。

主催 富山大学学術研究部医学系 歯科口腔外科学講座

共催 富山大学歯科口腔外科同門会 後援 富山県歯科医師会 / 富山県歯科衛生士会

2025年度 第42回 アルペン口腔科学フォーラム

- お問い合わせ 富山大学学術研究部医学系 歯科口腔外科学講座 富山県富山市杉谷2630
Tel.076-434-7383 Fax.076-434-5041 E-mail.sakurai@med.u-toyama.ac.jp
- 準備担当 櫻井航太郎

第42回アルペン口腔科学フォーラムのご案内

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は富山大学附属病院歯科口腔外科の診療に際して格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本年も多くの方々のご協力のもと、第42回アルペン口腔科学フォーラムを開催させていただくこととなりました。今回も本フォーラムでは、県内病院歯科口腔外科よりバラエティに富んだ非常に興味深い症例の発表がございます。また、特別講演の講師に広島大学大学院医系科学研究科 歯髄生物学教室の柴秀樹教授をお招きし、セメント質剥離および外科的歯内療法についてご講演をいただきます。セメント質剥離などの最新の歯内療法の考え方や歯根端切除術の勘所など、明日からの臨床に活かすことができる内容となっております。

このアルペン口腔科学フォーラムは、病院歯科口腔外科と地域の先生方を繋ぐ大切な交流の場でもありと考えております。多くの先生方のご参加をお願いするとともに、より密接な病診連携の礎になることを祈念しております。多くの先生のご参加をお待ちしております。

富山大学学術研究部医学系 歯科口腔外科学講座
教授 山田 慎一

プログラム

9:00
開会の辞
富山大学学術研究部医学系 歯科口腔外科学講座 教授 山田慎一

9:05～
一般演題Ⅰ
座長:富山市立富山市民病院 歯科口腔外科 部長 朽名智彦

1-1 下顎水平埋伏智歯抜歯時に歯根が迷入した1例

黒部市民病院 歯科口腔外科
○草島立太、高桜武史

抜歯時の偶発症の1つとして歯根迷入が挙げられる。上顎洞や口底への迷入の報告が多く、迷入した場合は歯根が上顎洞内や隙を移動する可能性がある。放置すると感染等さらなる偶発症の原因となるため可及的速やかな抜去が望ましいとされるが侵襲を加えることになるため慎重な対応を要する。今回当科では全身麻酔下での抜歯術の際に翼突下顎隙に歯根の一部が迷入し、後日局所麻酔下で迷入根を摘出した稀有な症例を経験したのでその概要を報告する。

1-2 高気圧酸素療法により良好な経過をたどった薬剤関連顎骨壊死の1例

富山県立中央病院 歯科口腔外科
○清水まや、倉部華奈、笠原公輝、小島 拓

【緒言】薬剤関連顎骨壊死(MRONJ)に対しポジションペーパー2023(PP2023)では外科的治療の優先度が高まったが、外科的治療を行わず補助療法である高気圧酸素療法(HBO)単独で良好な経過をたどった症例を経験したので報告する。【症例】76歳女性。左乳癌術後、多発骨転移を認めテノスマブ投与の既往あり。抜歯を契機にMRONJステージ2を発症し外科的治療の適応と考えたが、外科的治療に拒否がありHBOによる治療を行った。HBO治療後4か月のCTで骨硬化像を認め、治療後1年の時点で寛解状態を維持している。【結語】外科的治療の適応であるMRONJに対し、HBOが奏功した1例を経験した。

1-3 口底癌頸部リンパ節転移に対して頭頸部アルミノックス治療を行った1例

1)富山大学学術研究部医学系 歯科口腔外科学講座 2)東京医科大学八王子医療センター 歯科口腔外科
○三輪高子¹⁾、櫻井航太郎¹⁾、池田篤司¹⁾、朝倉みな実¹⁾、高塚団貴¹⁾、今上修一¹⁾、長谷川温²⁾、山田慎一¹⁾

頭頸部アルミノックス治療は、光感受性物質を結合させた薬剤を癌細胞に特異的に結合させ、レーザー光を照射して癌細胞を破壊する治療法である。切除不能な局所進行又は局所再発の頭頸部癌に適応があり、2023年12月に歯科口腔外科で保険収載された。本症例では、頸部リンパ節転移を標的病変とし、合併症として喉頭浮腫、顔面動脈破綻などが想定され、術前気管切開とエコーガイド下穿刺を計画した。本法を2回施行し、重篤な合併症は認めず、効果判定はSDであった。今回、当科で経験した本法の概要について報告する。

9:35～
口腔がんアルミノックス治療 製品紹介 楽天メディカル株式会社

9:50～
coffee break

10:05～
一般演題Ⅱ
座長:高岡市民病院 歯科口腔外科 部長 篠原治征

2-1 上顎洞への伸展を認めたエナメル上皮腫の1例

1)富山赤十字病院 歯科口腔外科 2)富山大学学術研究部医学系 歯科口腔外科学講座
○尾崎恵悟¹⁾²⁾、石戸克尚¹⁾²⁾

エナメル上皮腫(Ameloblastoma)は顎口腔領域に生じる腫瘍であり、本邦においては歯源性腫瘍のなかでは最も発生頻度の高い疾患である。10～30代の男性に多く、好発部位は下顎骨で約90%を占め、下顎大白歯部に最も多く生じるとされている。上顎骨に生じる症例は全エナメル上皮腫の10%程度と報告されている。今回、上顎大白歯部に生じ上顎洞への伸展を認めたエナメル上皮腫の1例を経験したので報告する。

2-2 胃全摘術後の骨代謝異常が懸念される高齢患者に対して自家骨と吸収置換型人工骨を用いて上顎底拳上術を行った1例

富山大学学術研究部医学系 歯科口腔外科学講座
○高塚団貴、津野宏彰、櫻井航太郎、高市真由、三浦桂一郎、池田篤司、
朝倉みな実、森 亮介、大内 峻、立浪秀剛、山田 慎一

胃全摘術後では骨代謝異常を来たしやすく、インプラント治療において骨造成遅延や初期安定性低下が懸念される。また高齢により侵襲的な骨採取も困難となる。今回、こうした全身の制約を有する症例に対し、自家骨と吸収置換型人工骨を併用して上顎洞底拳上術を行い、良好な骨造成および臨床経過が得られたため、その概要を報告する。

2-3 当科で加療した頬骨上顎骨複合体骨折の治療経験

富山市立富山市民病院 歯科口腔外科
○朽名智彦、石坂理紗、野口 映、友山ひかり、中西佳織、笹岡怜美、
増村優衣、荒井瑠美、蛸谷梨央

頬骨骨折は隣接する上顎骨や眼窩を構成する骨にも骨折が及ぶため、頬骨上顎骨複合体として骨折することが多いとされる。頬骨は顔面外側枠を決定する解剖学的構造体であるため、正確な骨片整復が重要になるとともに、頬骨前頭縫合部や眼窩下縁に到達するには眼窩周囲の皮膚切開が必要となるため、整容性を考慮したアプローチ方法を選択しなくてはならない。今回、当科で加療した頬骨上顎骨複合体骨折の治療経験について報告する。

10:35～
coffee break

10:45～
特別講演
座長:富山大学学術研究部医学系 歯科口腔外科学講座 教授 山田慎一

特別講演 セメント質剥離について

講師 広島大学 大学院医系科学研究科 歯髄生物学研究室
教授 柴 秀樹

セメント質剥離は、セメント・象牙境やセメント質の成長線に沿って、完全または不完全にセメント質が剥離する病態であり、高齢者に多くみられるのが特徴です。人生100年時代を迎えた現代においては、本疾患の症例数は今後さらに増加すると予測されます。

適切な診断を行うためには、セメント質剥離の病態や、診断に必要な検査について正確に理解することが重要です。また、根尖性歯周炎、歯内・歯周疾患、歯根破折、侵襲性歯頸部外部吸収などの鑑別診断も不可欠となります。

治療法は、症状の有無や剥離したセメント質片の位置に応じて異なります。経過観察、スケーリング・ルートプレーニング、歯肉剥離搔爬術、歯周組織再生療法、歯根尖切除術などのさまざまな外科的処置が選択肢となります。

本講演では、セメント質剥離の原因、診断に必要な検査、鑑別すべき疾患、そして治療法について解説いたします。とくに歯根尖切除術については、関連文献を提示しながら、近年の動向や注目されるトピックにも言及する予定です。最後に、実際の症例を提示し、臨床現場での理解を深めていただきます。

【ご略歴】	1989年	広島大学歯学部卒業	2005年	広島大学講師 歯周診療科
	1993年	広島大学大学院歯学研究科修了 歯学（博士）	2012年	広島大学准教授 歯周病態学研究室
	1993年	広島大学歯学部附属病院医員 第二保存科	2015年	広島大学教授 歯髄生物学研究室
	1993年	広島大学助手 歯科保存学第二講座	2019年	広島大学病院主席副病院長 (2022年3月まで)
	2002年 2004年	ルイビル大学歯学部ポストドクトラルリサーチフェロー 広島大学助手 歯周病態学分野		

【専門医・指導医など】	
日本歯科専門医機構認定歯周病専門医 日本歯科専門医機構認定歯科保存専門医 日本歯内療法学会指導医・理事長 日本歯科保存学会指導医・副理事長	日本歯周病学会・評議員 日本HIV歯科医療研究会理事 ICD制度協議会インフェクションコントロールドクター

11:45～
閉会の辞
つの歯科口腔外科 津野宏彰